

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部2年次生 森山芽衣

オーストラリア薬学研修

## 1、はじめに

2019年3月4日から18日までの2週間、オーストラリア薬学研修に参加しました。3月のオーストラリアは暖かく、晴れの日も多くてとても過ごしやすい気候でした。今回の研修ではオーストラリアのホストファミリーにお世話になり、TAFEで英語や薬学のこと、さらにオーストラリアについて学びました。

## 2、英語クラス

TAFEでの英語クラスでは個人のレベルに応じたクラスに分かれました。先生はとても優しく、陽気な方で楽しく授業を受けることができました。オーストラリアでの授業は日本の授業形式とは全く異なりました。日本では生徒が黒板に向かって座り、先生の話聞く形式ですが、オーストラリアでは先生や仲間たちと話しながら学んでいきました。この授業形式では、積極性や協調性も培われると感じ有意義な時間を過ごすことができました。この形式では実際に生きる英語を学べたのがよかったと思います。オーストラリアの文化や気候、地理などオーストラリアで生活していくにおいて大切なことを英語で学んだので、知識とともに英語能力も向上することができました。

## 3、薬学クラス

薬学クラスではオーストラリアの医療制度から薬の分類を中心に学びました。私が一番驚いたことは日本ではスーパーで売っているヘアカラーが薬局にしか売っていないということでした。また、薬の分類が多いことにも驚きを感じました。さらに、オーストラリアでは日本でいう登録販売者のような職業が細分化されており、日本の医療制度の遅れを身に染みて感じました。他にも、薬学クラスでは校外学習として薬局見学と大学見学をすることができました。話を聞くだけでなく、実際に薬局で薬剤師の人をみることでよかったです。大学では一包化の体験や、軟膏練り体験をさせていただきました。一包化は日本とは大きな違いがあり楽しく学べました。この大学見学で驚いたことは薬剤師の方が人間だけではなく、イルカなどのほかの生き物の薬も調剤しているということでした。動物それぞれに個体差はあるのでそれに応じて薬を調剤していることは動物にとっても大切なことだと感じました。

#### 4、ホストファミリー

私は3人家族のファミリーにお世話になりました。オーストラリアの人はとてもフレンドリーで最初は不安を感じていましたが、すぐにそんな気持ちは吹っ飛びました。近所の方ともとても仲が良く、毎週末は近所の人とBBQをするほどでした。オーストラリアの家はとても広くてお風呂やトイレが2つずつありびっくりしました。私のホストマザーはケータリングの仕事をしていましたのでごはんも美味しく、毎日ご飯を作るところをみてつまみ食いしていました。おかげで太りましたが、それもいい思い出となりました。ホストファミリーの息子はアメフトをやっていたので、ご飯前に毎日アメフトの練習をして、ご飯後にマリオカートをしました。私には弟がいないので、弟ができたみたいでとても嬉しかったです。そしてファザーはとてもやんちゃな人でした。すぐに冗談を飛ばしてくるので笑いの絶えない生活を送ることができました。休みの日はファミリーと一緒に犬のお散歩に行ったり、お出かけに行ったりと本当の家族になれたみたいでとても嬉しかったです。

#### 5、最後に

私は英語能力がそんなに高いわけではなかったのですが、今回の研修に参加できてとても良かったと思います。英語能力の向上だけでなく、人間性が良くなった気がします。研修前に参加した事前学習でも掲げた目標を達成できたと思うので、これからもこの研修で得たことを忘れずに頑張っていきたいと思いました。